

## 農閑期における獣害対策の検討

現在、各集落では様々なタイプの獣害対策が実施されていますが、地面に固定されていないネットや反対側に設置されたガイシ等、効果が期待できないような防除施設を見かけることがあります。雑草が枯れる冬季は、それまで中が見えなかった耕作放棄地内の様子や農地周縁から伸びる獣道を把握し易い時期で、それらをの情報は来期の防除対策に有効です。

当研究所では、このような既存防除施設を効果的に修正することや、獣害対策に関する情報を年間を通じて現場に伝えることが大切であるとの観点から、中丹地域野生動物対策チームの活動の中でその課題と方法を検討しています。



農道側に設置されたガイシ、 草が枯れて現れた放棄地内の獣のひそみ跡、  
農閑期に餌を食べに来た足跡

農閑期に把握できる来期に向けた防除対策関連情報の例